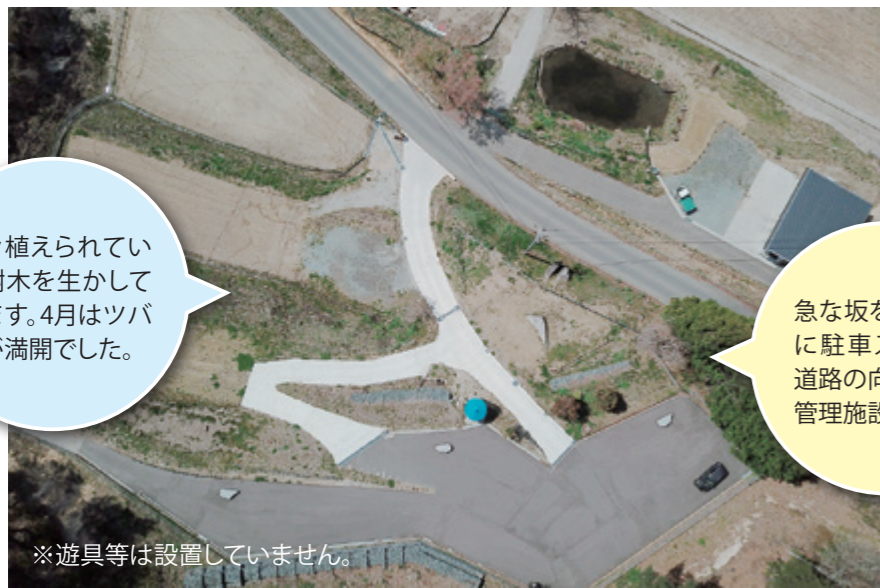




下の道路からも見える青い屋根のサイロが目印。石のベンチもあります。



元々植えられていた樹木を生かしています。4月はツバキが満開でした。

急な坂を登った上に駐車スペース。道路の向かい側は管理施設です。

※遊具等は設置していません。

長泥曲田公園

特定復興再生拠点区域外の曲田地区に整備された『長泥曲田公園』。国が実施した線量低減化実証事業等の効果を継続的に確認し、地区の復興・再生に向けた取り組みの情報発信等を行っている場所として、避難指示が解除されました。『長泥曲田公園』も5月1日からは立ち入り可能な場所となっています。地権者及び長泥行政区の協力を得て整備した公園です。

長泥地区の新たな施設を紹介します

明日への一歩の足がかりとして

長泥コミュニティーセンター



住民の交流の拠点として整備されました。自宅を解体した人の利用を想定し、キッチンやシャワー室も設置。非常電源など防災拠点としての機能も備えています。



畳敷きの和室もあります。



機能的なキッチン。



センター前のバーベキューハウス。



広々とした研修室。



道路沿いに公衆トイレを設置。※冬季は使用不可となりますのでご注意ください。



散策ができる広場。広場奥はグラウンド。

整備に向けて準備を進めています 「資源活用型堆肥製造施設」整備計画

区域外の土地活用の一環として、曲田地区に資源活用型堆肥製造施設の誘致を計画しています。施設の運営会社となるイイタテバイオテック株式会社と村は、今年3月、行政区の立ち会いのもと、立地協定を結んでいます。



左からイイタテバイオテック株式会社の石原健二郎取締役、杉岡村長、嶋原新一長泥行政区長

計画されている「資源活用型堆肥製造施設」は、熱風乾燥させることで資源化した廃棄物から堆肥を製造します。廃棄物を資源化する取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）に当てはまり、脱炭素にも貢献します。また、長泥地区に産業を創出することで、地域の活性化も目指します。



施設イメージ